

# デジタルマイクロ レコーダー

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**Operating Instructions page 38**



## NT-2

# 主な特長

- ・ NT（ノントラッキング）方式採用の小型デジタルステレオレコーダー。簡単操作で高音質が楽しめます。
- ・ 切手サイズの小型カセットテープを使用。1本で最長120分（往復）の録音・再生が可能です。
- ・ 単3形アルカリ乾電池1本で約6時間の長時間録音。再生でも約4.5時間の連続使用が可能です。
- ・ カセットの表裏を入れ換えることなく、音切れのないオートリバース録音・再生ができます。（メモリーリバース機能）
- ・ 録音レベル調整のいらぬデジタルAGC（Automatic Gain Control）録音。録音の失敗を防ぐのに役立ちます（マニュアル録音も可能です）。
- ・ 2099年までのオートカレンダーつき時計機能内蔵。録音した日時を自動的に記録します。
- ・ リモコンつきヘッドホンにより、手もとで操作ができます。
- ・ NTステーションNTU-S1（別売り）と組み合わせることによって、CD、MD、DATなどの機器からのデジタル録音ができます。

## 録音についてのご注意

- ・ 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- ・ 本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ・ あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

# 目次

---

コンセント、CDプレーヤーなどにつなぐ .....	5
CDなどから録音する .....	6
ヘッドホンで聞く .....	7

---

電源と時計合わせ	
乾電池で使う .....	8
リチウム電池を入れる .....	9
カレンダー時計を合わせる .....	10

---

録音 — 応用	
マイクから録音する .....	12
録音レベルを調節する .....	15
自動調節を切り換える .....	15
手動で調節する .....	16
録音中の表示窓について .....	17

---

再生 — 応用	
ステレオ機器などにつないで聞く .....	18
好みの音にして聞く .....	20
低音を強調する（BASS BOOST機能） .....	20
耳にやさしい音で聞く（AVLS機能） .....	21
再生中の表示窓について .....	22

---

便利な機能	
誤操作を防止する（ホールド機能） .....	23
A / B面を確認する（A / B面お知らせ機能） .....	23

---

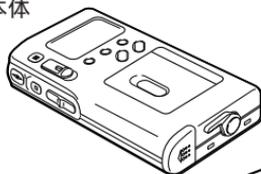
その他	
使用上のご注意 .....	24
お手入れのしかた .....	26
保証書とアフターサービス .....	27
故障かな？と思ったら .....	28
主な仕様 .....	29
NTフォーマットのしくみ .....	31
各部のなまえ .....	35

---

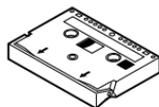
Operating Instructions .....	38
------------------------------	----

## 付属品を確かめる

本体



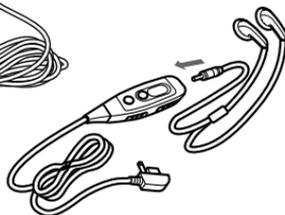
NTカセットテープ  
(NTC-60、往復60分)



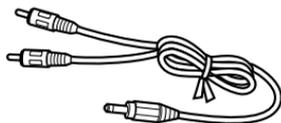
ACパワーアダプター



リモコンつきヘッドホン



接続コード



単3形アルカリ乾電池LR6(SG)  
リチウム電池(CR1220)  
マイク  
クリーニングカセット(NTC-10CL)

キャリングケース  
保証書  
取扱説明書  
ソニーご相談窓口のご案内

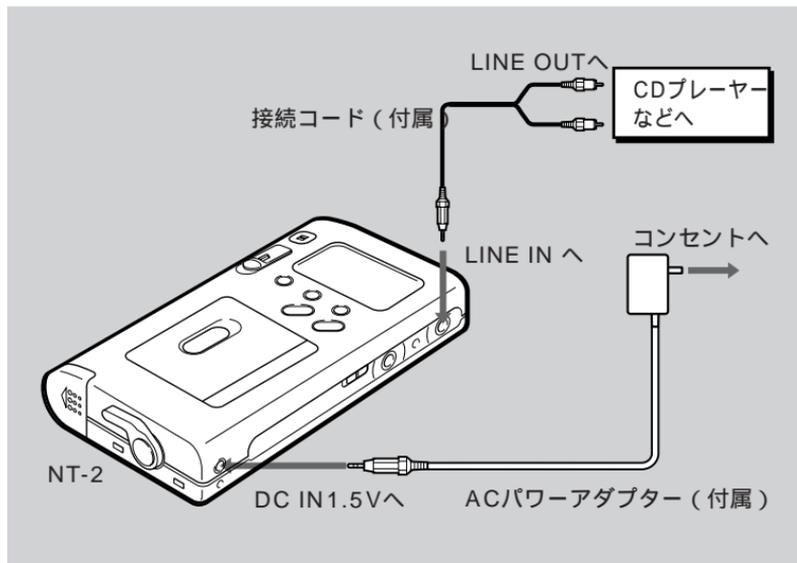


**警告**

NTカセットテープは幼児の手の届かないところに置く  
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

# コンセント、CDプレーヤー などにつなぐ

乾電池で使うには→8ページ



**1** 付属の接続コードでCDプレーヤーなどにつなぐ

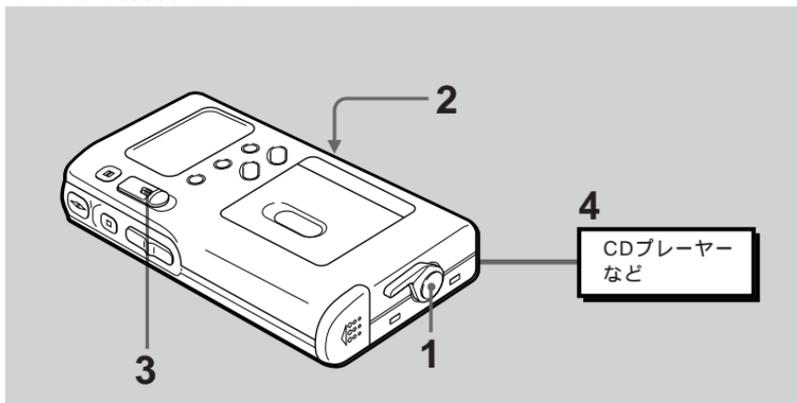
**2** 付属のACパワーアダプターでコンセントにつなぐ

つなぐ機器のLINE OUTがステレオミニジャックの場合は  
ポータブルCDプレーヤーなどLINE OUTがステレオミニジャックの機器から録音するには、別売りの接続コードRK-G136GS (ステレオミニプラグステレオミニプラグ) が必要で

す。  
デジタル接続・録音するには  
CD、MD、DATなどの機器からデジタル録音するには、別売りのNTステーションNTU-S1が必要です。

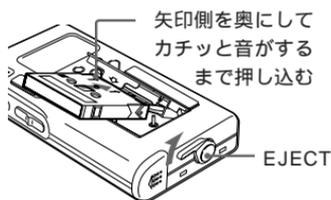
# CDなどから録音する

マイクから録音するには→12ページ



## 1 EJECTつまみを矢印側に向けてカセットを入れる

カセットの録音を始めた面をふた側にして入れ、手でふたを閉める。



## 2 片面録音か、両面録音かを選ぶ

片面録音（ふた側（FWD）の面のみ録音）：⇐

両面録音（ふた側（FWD）から本体側（REV）の面に録音）：⇨



## 3 録音を始める

中央の赤いボタンを押したままずらしします。



## 4 CDなどの演奏を始める

録音を止めるには

■ボタンを押します。

録音を一時停止するには

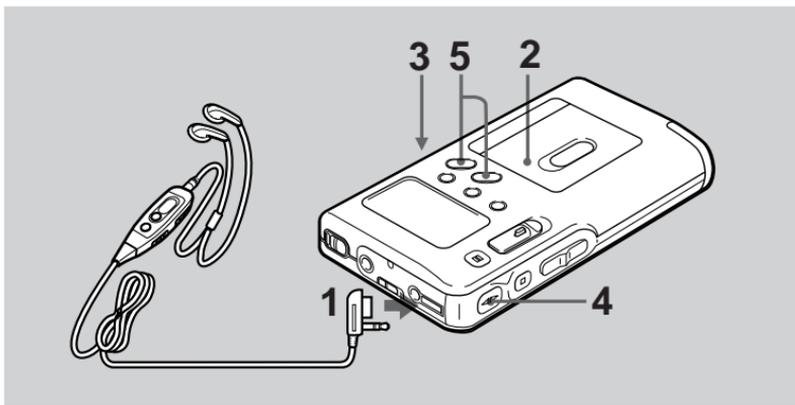
■ボタンを押します。もう一度押すと再び録音が始まります。

録音面を切り換えるには

停止中、◀▶ボタンを2回押したあと、■ボタンを押します。ふたを開けると、自動的にふた側の面に切り換わります。録音中の音をモニターするにはヘッドホンをつなぎます。

# ヘッドホンで聞く

ステレオなどにつないで聞くには→18ページ



**1** リモコンつきヘッドホンをつなぐ

**2** カセットを入れる

聞きたい面をふた側にします。

**3** 片面再生か、両面くり返し再生\*かを選ぶ

片面再生：≡

両面再生：↔



\*テープ保護のため両面を3回くり返して再生すると自動的に止まります。

**4** 再生を始める



**5** 音量を調節する

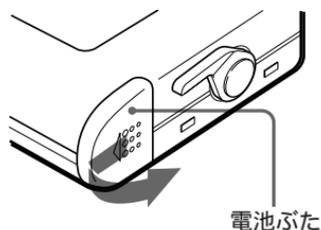
目的	押すボタン
再生を止める	■
反対の面を再生する	再生中に◀▶
再生を一時停止する	再生中に

目的	押すボタン
早送り	FF
巻き戻し	REW

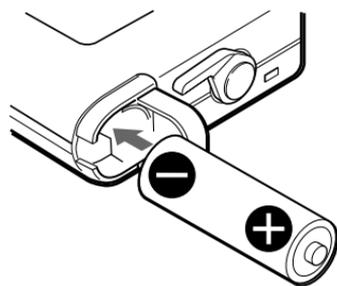
# 乾電池で使う

単3形アルカリ乾電池1本を使います。

- 1 電池ぶたを押しながら矢印の方向にずらして開ける



- 2 マイナス側から電池を入れる



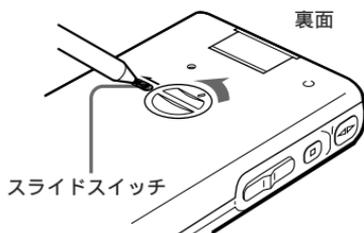
電池の残量がなくなってくると表示窓に☹️が点滅します。そのまま使用していると電池が消耗し、すべての動作が止まります。新しい電池に取り換えてください。

乾電池の持続時間はソニーアルカリ乾電池LR6(SG)を使うと、連続録音で約6時間、連続再生で約4.5時間です。

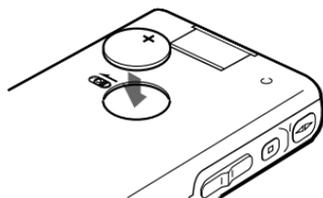
# リチウム電池を入れる

カレンダー時計用にリチウム電池（CR1220）を入れます。

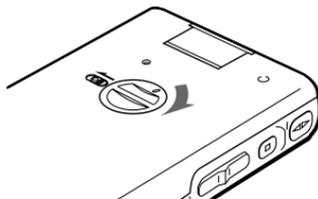
- 1** リチウム電池ぶたのスライドスイッチを矢印の方向にずらしながらOPEN側に回してははず



- 2** +面を上にして電池を入れる



- 3** リチウム電池ぶたをはめて、カチッと音がするまでCLOSE側に回す



リチウム電池の交換時期は約1年を目安に交換してください。

リチウム電池を交換したら必要があればカレンダー時計を合わせなおしてください（次ページ参照）。カレンダー時計を正しく合わせていないと、正しい録音日時が記録されません。

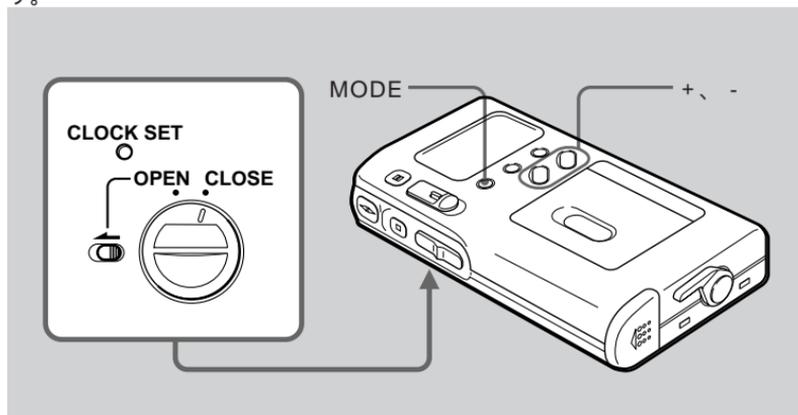
リチウム電池についてのご注意  
リチウム電池は、特に幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

# カレンダー時計を合わせる

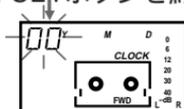
カレンダー時計を合わせておくと、録音するとき自動的に録音日時が記録されます。

年(Y)、月(M)、日(D)、時(H)、分(M)の順に合わせてます。次の項目に移るにはMODEボタンを、数字を合わせるには+、-ボタンを使います。

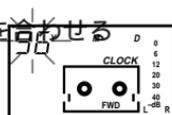
電源と時計合わせ



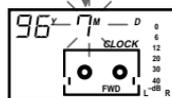
- 1 停止時にペン先などでCLOCK SETボタンを約1秒間押し、年(Y)を示す2桁の数字が点滅します。



- 2 +、-ボタンを押して年(Y)を合わせる  
押し続けると、数字が速く進みます。



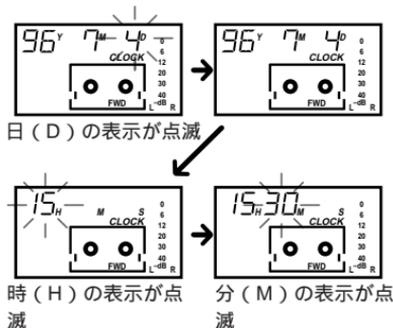
- 3 MODEボタンを押して次の項目に移る  
月の数字が点滅  
年が設定され、月(M)を示す数字が点滅します。



#### 4 2と3を繰り返して月(M)、日(D)、時(H)、分(M)を合わせる

表示が右図のように変わります。

時計は24時間表示です。



#### 5 分(M)を合わせたら、MODEボタンを押す

時計が動き始め、時刻(時、分、秒)が表示されます。

このとき時報と同時にMODEボタンを押すと、秒まで正確に合わせられます。

途中で間違えたときは

いったん、CLOCK SETボタンを押して設定状態を解除したあと、もう一度はじめからやりなおしてください。

その際、変更する必要のないものはMODEボタンでとばすことができません。

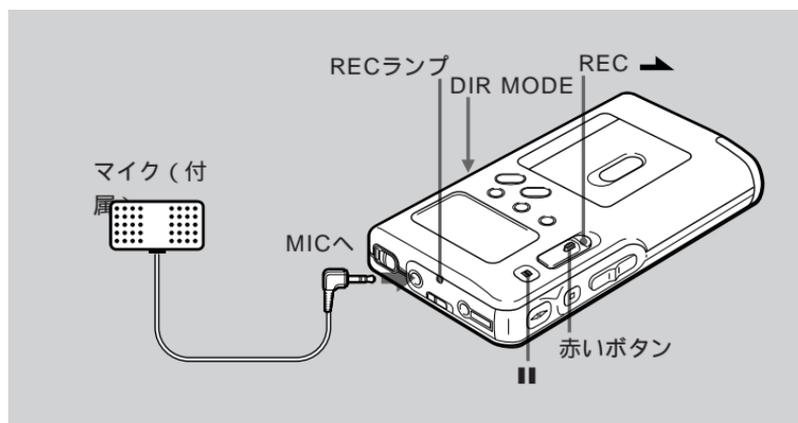
時計がずれてきたら

上記の手順をくり返し、時計を合わせ直してください。

正確な録音日時を記録するためには、1か月に1度など、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

# マイクから録音する

付属のマイクを使って録音します。



**1** 付属のマイクをNT-2のMIC端子につなぐ

**2** EJECTつまみを矢印側にしてカセットを入れる

録音を始めたい面をふた側にして入れ、手でふたを閉める。

矢印側を奥にして、カチッと音がするまで押し込む。



**3** 片面録音か、両面録音かを選ぶ

DIR MODEスイッチで選びます。

片面録音の場合：⇐

(ふた側 (FWD) の面のみ録音)

両面録音の場合：↻

(ふた側 (FWD) から本体側 (REV) の面に録音)



## 4 中央の赤いボタンを押したままRECスイッチをずらす RECランプが点灯し、録音が 始まります。 録音レベルは自動的に調節さ れます。

録音を止めるには

■ボタンを押します。数秒後にテープが止まります。

録音を一時停止するには

■ボタンを押します。「PAUSE」表示がテープカウンター表示と交互に現れます。もう一度押すと再び録音が始まります。

タイミングよく録音を始めるには  
手順3のあと、■ボタンを押してから中央の赤いボタンを押したままRECスイッチをずらすと、録音待ち状態になります。そのあと、録音を始めたいタイミングで■ボタンをもう一度押します。

両面録音を選ぶと

両面再生すると、FWD面からREV面に反転するとき音が途切れません（メモリーリバー機能：34ページ）。  
また、FWD面の残量が10分未満のとき

ろから両面録音をした場合は、メモリーリバー再生ができず、反転時音が途切れることがあります。

録音レベルを調節するには

初めて使うとき、録音レベルには会話などの録音に適した調節が自動的に行われます。音楽の録音に適した自動調節や、手動調節に切り換えるには、「録音レベルを調節する」（15ページ）をご覧ください。

## →マイクから録音する

付属のマイクの使いかた

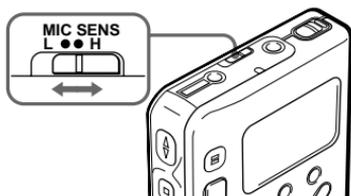
付属のマイクは、ネクタイなどに留めて使えます。クリップはマイクをつける場所に合わせて方向を変えられます。



クリップ

マイク感度を調節するにはヘッドホンでモニターしながら、録音状況に合わせてマイク感度を選んでください。

録音の状態	MIC SENSスイッチ
遠くの音や 小さい音を 録音する	H
近くの音や 大きい音を 録音する	L



2種類の音源を合わせて録音するには

LINE IN端子とMIC端子の両方に接続すると接続した機器からの音とマイクからの音を混ぜて録音できます。ただし2つの音のバランスを調節することはできません。

液晶表示が点滅したら

「REC」と「PROTECT」カセットが誤消去防止状態になっています。誤消去防止状態を解除するか、新しいカセットを入れてください。(25、31ページ)

「REC」、「PROTECT」と「◀REV」

カセットのREV面のみが誤消去防止状態になっています。

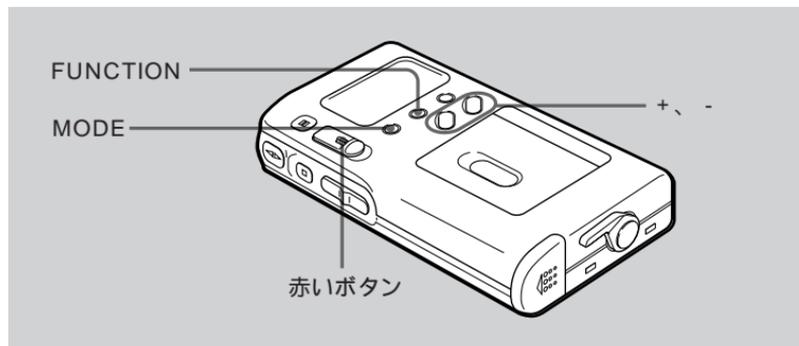
「REMAIN」

テープの残量(片面録音時は片面の残量)が4分を切っています。このときDIR MODEスイッチを切り換えても動作は切り換わりません。

# 録音レベルを調節する

通常、録音レベルは自動的に調節されています。この自動調節は、音源に合わせて切り換えることができます。また、録音レベルを手動で調節することもできます。

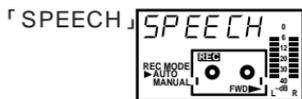
## 自動調節を切り換える



**1** 録音中または録音待ち状態でFUNCTIONボタンを押す。  
それ以外のときは、赤いボタンを押したままFUNCTIONボタンを押します。

**2** MODEボタンを繰り返し押ししてSPEECHかMUSICを選ぶ。  
押すごとに「SPEECH」「MUSIC」「MANUAL」と設定が変わります。

会話などを録音するとき：



音楽などを録音するとき：



**3** FUNCTIONボタンを押す  
あとは自動調節されます。

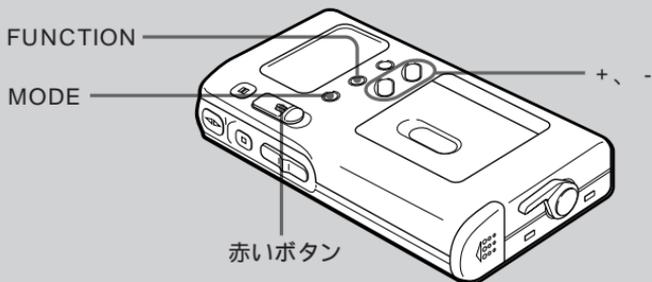
### ご注意

自動調節では、音源の種類やレベルの変化により、まれに不自然な感じになったり雑音が生じたりすることがあります。

その場合にはマニュアル録音（次ページ参照）してください。  
録音レベル調節の設定は、録音後も記憶されています。

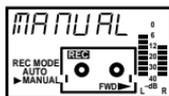
## →録音レベルを調節する

### 手動で調節する（マニュアル録音）



**1** 録音中または録音待ち状態でFUNCTIONボタンを押す  
それ以外のときは、赤いボタンを押したままFUNCTIONボタンを押します。

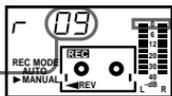
**2** MODEボタンを繰り返し押し  
してMANUALを選ぶ



**3** FUNCTIONボタンを押す  
これで手動調節ができます。

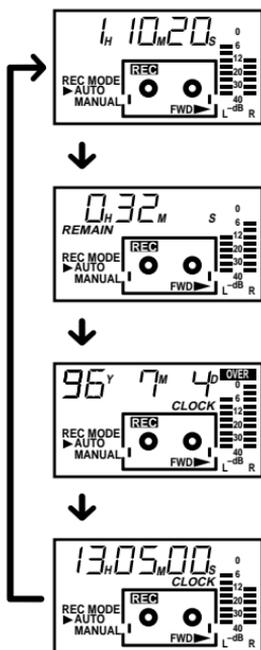
**4** 赤いボタンを押したまま +、- ボタンを押して調節する

数字が大きいほど録音レベルは大きい（0～30の間で調節します）。  
一番上のバーがた  
まに点灯する程度  
が適正レベル



# 録音中の表示窓について

録音中、録音一時停止中および停止した直後の表示は、MODEボタンを押すたびに次のように切り換わります。



テープカウンター表示  
経過時間表示ではありません。

残量時間表示  
あと約32分録音できることを示しています。

年月日表示  
1996年7月4日であることを示しています。

時計（時分秒）表示  
午後1時5分0秒であることを示しています（時計は24時間表示です）。

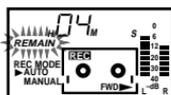
## 残量時間表示について

残量時間は、テープの走行状態から割り出して表示します。そのため、録音を始めてから残量時間表示が出るようになるまで10秒ほどかかります。

また、実際の残量時間とは若干の誤差が生じることがありますので、目安としてお使いください。

テープカウンターを0H00M00Sに戻すには  
テープカウンター表示中にCOUNTER  
RESETボタンを押します。

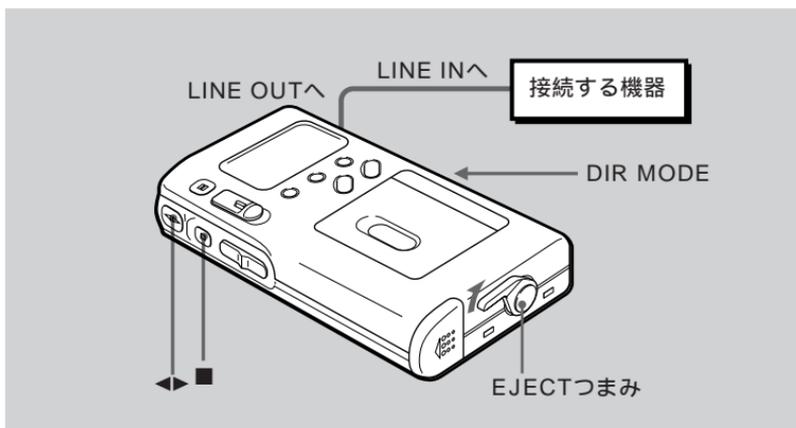
「REMAIN」表示が点滅したら  
テープの残量が約4分を切ったことを示しています。



このときDIR MODEスイッチを切り換えても動作は切り換わりません。

# ステレオ機器などにつないで聞く

お手持ちのステレオ機器などにつないで聞きます。



**1** 付属の接続コードの一方をNT-2のLINE OUT端子に接続し、コードのもう一方を接続する機器のLINE IN端子につなぐ

**2** カセットを入れる  
聞きたい面をふた側にします。

**3** 片面再生か、両面再生\*かを選ぶ  
DIR MODEスイッチで選びます。

片面再生の場合： 

両面再生の場合： 

\*テープ保護のため、両面を3回くり返して再生すると自動的に止まります。



**4** ◀▶ボタンを押す  
再生が始まります。

**5** ステレオ機器側で音量を調節する

ご注意

ヘッドホンで聞いているときにステレオ機器などをつなぐと、ヘッドホンからの

再生音のボリュームが小さくなる場合があります。

## 再生に関する操作

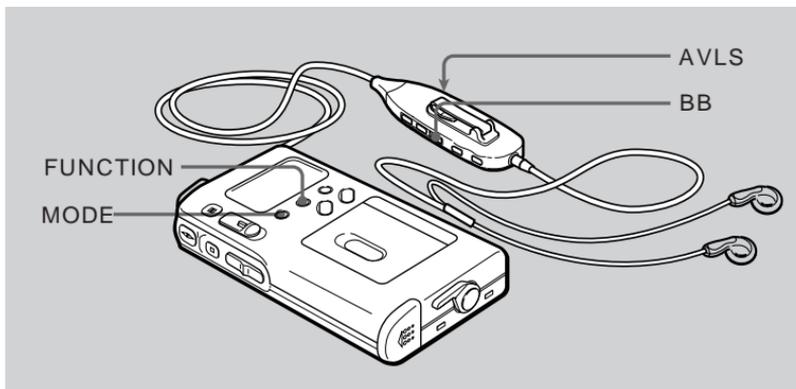
目的	押すボタン
再生を止める	■
反対の面を再生する	再生中に◀▶
再生を一時停止する	再生中に
早送り	停止時にFF
巻き戻し	停止時にREW

## 車内で聞くには

別売りのカーバッテリーコード DCC-E215XLとカーコネクティングパック CPA-8が必要です。カーバッテリーコードをシガーライターとNT-2のDC IN 1.5V端子に、カーコネクティングパックをカーステレオのカセットデッキとNT-2のLINE OUT端子につないでください。

# 好みの音にして聞く

ヘッドホンで聞くときは、再生音を以下のように変えられます。



## 低音を強調する ( ベース ブースト BASS BOOST機能 )

低音域を強調し、迫力のある再生を楽しむことができます。

- 1 FUNCTIONボタンを押す。
- 2 MODEボタンを押してBASS BOOSTの設定を選ぶ。  
押すごとに「OFF」「BASS 1」「BASS 2」と設定が変わります。  
BASS 1：低音強調のレベルが小さい。  
BASS 2：低音強調のレベルが大きい。
- 3 FUNCTIONボタンを押して設定を終える。

リモコンで操作するときは

BBボタンを押します。押すごとにOFF BASS1 BASS2と設定が変わります。

### ご注意

LINE OUT端子にコードをつないでいると、BASS BOOST機能は働きません。

## 耳にやさしい音で聞く (AVLS\*機能)

音もれを抑え耳にやさしい音で聞くことができます。

---

リモコンのAVLSスイッチをONの側にずらす  
音量表示が「23」より大きくならないようになります。

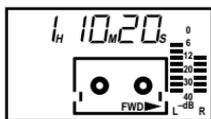
---

オートマチック ボリューム リミッター  
\* Automatic Volume Limiter  
システム  
Systemの略。

# 再生中の表示窓について

再生中には、録音時に自動的に記録された録音日時を表示することができません。

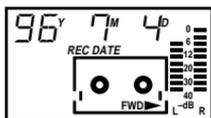
再生中の表示窓は、MODEボタンを押すたびに次のように切り換わります。



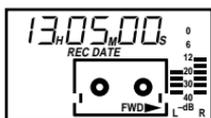
テープカウンター表示  
経過時間表示ではありません。



残量時間表示  
あと約32分再生できることを示しています。



録音年月日表示  
1996年7月4日に録音されたことを示しています。

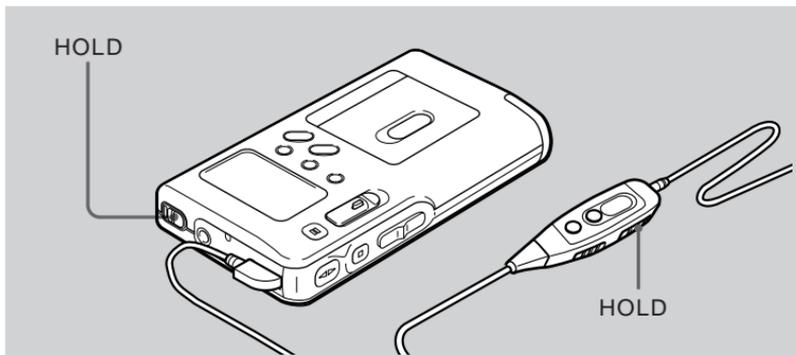


録音時分秒表示  
午後1時5分0秒に録音されたことを示しています。

テープカウンターを0H00M00S  
に戻すには  
テープカウンター表示中にCOUNTER  
RESETボタンを押します。

## 誤操作を防止する（ホールド機能）

カバンやポケットに入れておくとときなど、誤ってボタンが押されるのを防ぎます。ただし、カウンターをリセットしたり、表示窓の表示を変えることはできません。



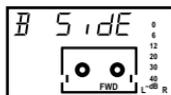
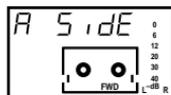
ホールドしたい側のHOLDスイッチを矢印の方向にずらす。  
本体をホールドするには本体のHOLDスイッチを、リモコンをホールドするにはリモコンのHOLDスイッチを操作します。  
解除するには、スイッチを元の位置に戻します。

## A/B面を確認する（A/B面お知らせ機能）

停止中、これから録音、再生されるテープの面がA面かB面かを確認することができます。

停止中にSTOPボタンを長めに押す

表示窓に「ASide」または  
「B Side」が表示されます。



# 使用上のご注意

## ACパワーアダプターについて

付属のACパワーアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ・EIAJ規格

## 置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
- 風呂場など、湿気の多いところ。
- ほこりの多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く（雑音が発生することがあります）。
- AMラジオやチューナーの近く（雑音が発生することがあります）。

## 取り扱いについて

落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因となります。

## ヘッドホンで聞くときのご注意

付属のヘッドホンは音もれ防止タイプですが、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

## 結露について

寒いとき、部屋の暖房を入れた直後など、急激な温度変化のために内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。

そのままでは、テープが内部の部品にはりついたりして正常に働かないばかりでなく、テープや部品をいためてしまいます。急な温度変化があった場合は、カセットテープを取り出して、しばらく放置してからお使いください。NT-2をお使いにならないときは、カセットテープを取り出しておくことをおすすめします。

## 録音内容を誤って消さないために

録音後、カセットの誤消去防止の赤い部分をペン先など細いもので押し込んでください。（誤消去防止部 31ページ）

この状態で録音しようとすると、表示窓に「REC PROTECT」表示が点滅して録音ができません。

再び重ねて録音したいときは、赤い部分の裏側にある白い部分をペン先など細いもので押し込んでください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

# お手入れのしかた

## ヘッドの汚れについて

長時間NT-2をお使いになると、ヘッドが汚れてくることがあります。ヘッドが汚れると、正しく録音されなかったり、再生時に雑音が入ったり音とびが起こったりすることがあります。確実な録音・再生をするために、別売りのクリーニングカセットNTC-10CLで10時間走行を目安にヘッドをクリーニングすることをおすすめします。

また、長時間ご使用にならなかったときも、クリーニングカセットを使いクリーニングしてください。

クリーニングカセットの使いかた

- 1 クリーニングカセットを録音、再生用カセットと同じように本体に入れる
- 2 DIR MODEスイッチを☐に合わせる
- 3 ◀▶ボタンを押し、15秒ほどたったら■ボタンを押す
- 4 クリーニングカセットを取り出す（巻き戻しはしないでください）

クリーニング後、録音・再生用カセットで録音・再生し、音質をチェックしてください

クリーニングカセットについてのご注意

- クリーニングカセットは録音、再生にはお使いにならないでください。
- 続けて5回以上お使いにならないでください。  
連続してお使いになると、ヘッドの摩耗につながる場合があります。
- クリーニングカセットはお使いになるたび巻き戻さないでください。テープが終わりまできたら裏返して同じようにお使いください。

## 表面の汚れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

## カセットカバーについて

NTカセットテープには、内部にほこりが入りにくいようにカセットカバーがついています。カセットカバーは、本体にカセットテープを出し入れする際、自動的に開閉するしくみになっています。絶対に無理に開けたり、テープに触ったりしないでください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを  
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください

## それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

## 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間について

当社では、デジタルマイクロレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

# 故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
カセットぶたが閉まらない	カセットテープが正しく入っていない。	カセットテープを正しく入れる。
操作ボタンを押しても動作しない 液晶表示がでない テープが動かない	<ul style="list-style-type: none"><li>電池が消耗している。</li><li>電源が正しく接続されていない。</li><li>ホールド機能が働いている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>電池を取り換える。</li><li>電源を正しく接続する。</li><li>ホールド機能を解除する。</li></ul>
録音できない	<ul style="list-style-type: none"><li>正しく接続されていない。</li><li>録音レベルが低くなっている（マニュアル録音時）。</li><li>カセットテープが誤消去防止状態になっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>正しく接続する。</li><li>録音レベルの設定を高くする。</li><li>録音したい面の誤消去防止部裏側の白い部分をペン先などの細いもので押し込み、誤消去防止部分を赤にする。</li></ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>正しく接続されていない。</li><li>音量が小さすぎる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>正しく接続する。</li><li>VOLUME + ボタンで音量を調節する。</li></ul>
音が大きくなる	AVLS機能が働いている。	リモコンのAVLSスイッチをOFFにする
雑音が多い 音質が良くない	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビなど磁気を帯びたものの近くに置いている。</li><li>ヘッドが汚れている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビなどから離して置く。</li><li>クリーニングカセットNTC-10CLでヘッドクリーニングする。</li></ul>
カレンダー時計が狂う	リチウム電池が消耗している。	リチウム電池を交換する。
正しい録音日時が記録されない	カレンダー時計を合わせていない。	カレンダー時計を合わせる。
カセットが取り出せない	途中で電源を抜いた。	電源を入れていったん■ボタンを押したあと、EJECTつまみをずらす。
BASS BOOST機能が働かない	LINE OUT端子にコードが接続されている。	コードをはずす。

# 主な仕様

規格	NTフォーマット
テープ	デジタルマイクロテープ (NTカセットテープ)
録音方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン デジタル記録
ヘッド数	4ヘッド
録音時間	往復60分 (付属のNTC-60使用時) 最長120分 (往復)
テープスピード	約6.35 mm/s
ドラム回転数	約3000 rpm
エラー訂正方式	クロスインターリーブ符号
トラックピッチ	約9.8 $\mu$ m
サンプリング周波数	32 kHz
変調方式	LDM-2
チャンネル数	2チャンネルステレオ
量子化	12 bit折線 (17bit相当)
周波数特性	10 Hz ~ 15,000 Hz (+1, -3 dB)
信号対雑音比 (SN比)	80 dB以上 (1kHz, IHF-A, 20 kHz LPF, ライン入力)
ダイナミックレンジ	80 dB以上 (1kHz, IHF-A, 20 kHz LPF, ライン入力)
高調波ひずみ率	0.08%以下
ワウフラッター	測定限界 ( $\pm 0.001\%$ W.PEAK) 以下

## 入力端子

	端子形状	基準入力レベル	最小入力レベル
MIC	ステレオミニ	1.38mV	0.55mV
LINE IN	ステレオミニ	160mV	64mV

## 出力端子

	端子形状	規定出力レベル	最大出力レベル	負荷インピーダンス
HEAD PHONES	ステレオミニ		5mW + 5mW	16
LINE OUT	ステレオミニ	160mV		47k

## →主な仕様

### 電源・その他

電源	DC 1.5V 単3形乾電池1個またはACアダプター 使用
乾電池持続時間	連続録音時：約6時間 連続再生時：約4.5時間 (ソニーアルカリ乾電池LR6 (SG) 使用)
リチウム電池持続時間	約1年
消費電力	約300mW
最大外形寸法	112.8×22×63mm (幅/高さ/奥行き、最大突起部含 む)
質量	本体：約155g ご使用時：約210g (リモコンつき ヘッドホン、乾電池LR6 (SG)、 NTC-60含む)

### 付属品

リチウム電池CR1220 (1)  
ACパワーアダプター  
ソニーアルカリ乾電池LR6 (SG) (1)  
接続コード (ステレオ/ライン入力・出力用) (1)  
マイク (1)  
NTカセットテープNTC-60 (1)  
クリーニングカセットNTC-10CL (1)  
リモコンつきヘッドホン (1)  
キャリングケース (1)  
取扱説明書  
ソニーご相談窓口のご案内 (1)  
保証書 (1)

### 別売り アクセサリ

NTステーション NTU-S1  
NTカセットテープ (生テープ) : NTC-120 (往復120分)  
NTC-90 (往復90分)、NTC-60 (往復60分)  
ステレオパノラママイクロホン ECM-909 A  
タイピン型ステレオマイクロホン ECM-TS120  
カーバッテリーコード DCC-E215XL  
カーコネクティングバック CPA-8  
アクティブスピーカー SRS-A91

そ  
の  
他

親は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください

# NTフォーマットのしくみ

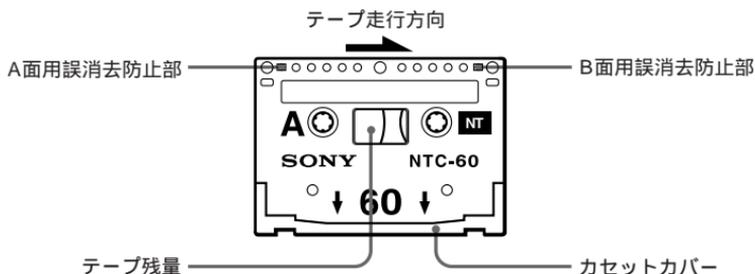
NTとは、切手サイズの小型カセットテープを使用した録音・再生システムです。小型（ポケットサイズ）、高音質（デジタル）、長時間録音・再生を目標に開発されました。NTの主な特長は以下の通りです。

## 切手サイズの小型カセットテープ

カセットテープを小型化することによって、テープレコーダーも小型になりました。持ち運びやすく、カセットテープの保存にも場所を取りません。録音・再生は往復で最長2時間可能です（NTC-120使用時）。ステレオ高音質の録音・再生はデジタル記録です。

## NTカセットテープについて

NTカセットテープは、A面・B面の両面で録音・再生ができます。付属のカセットテープ（NTC-60）は、片面に30分ずつ、往復で60分の録音・再生ができます。



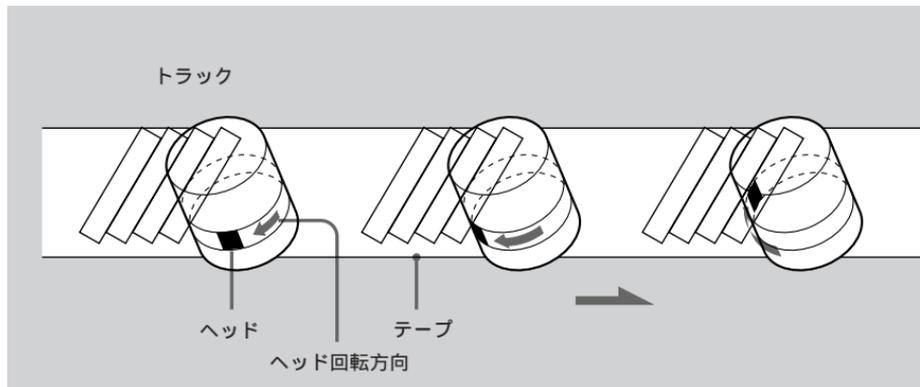
## カセット仕様

サイズ	30 × 21.5 × 5 (mm) (ふたを閉じた状態)
質量	2.3g
テープ幅	2.5mm
テープ種類	Ni-Coメタル蒸着テープ
最大記録時間	120分 (往復)

## →NTフォーマットのしくみ

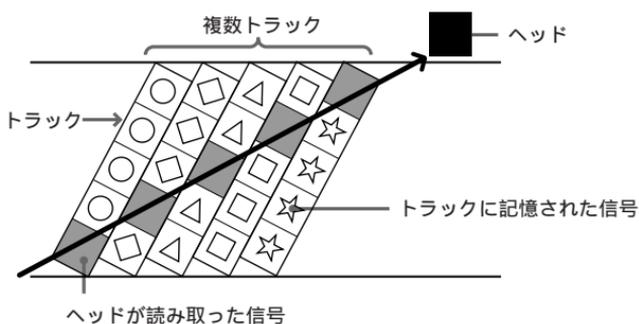
### ノントラッキング再生方式

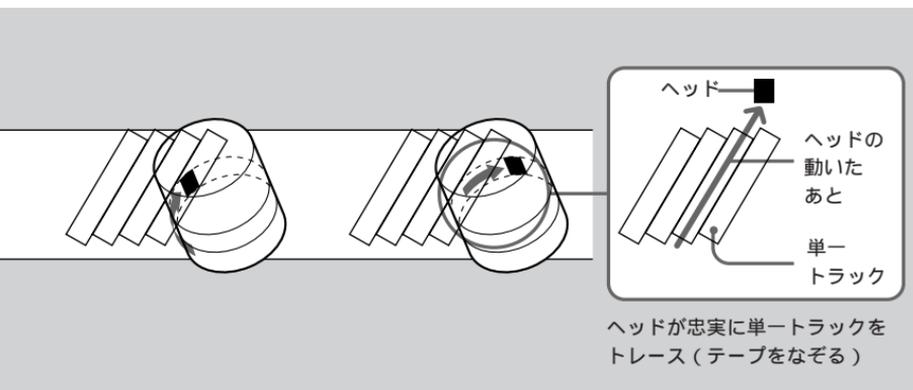
信号が記録されたトラックを、ヘッドが1本1本忠実にトレースして再生する方式をトラッキング再生といいます。トラッキング再生では高度な機械精度が必要なため、小型化が非常に困難でした。



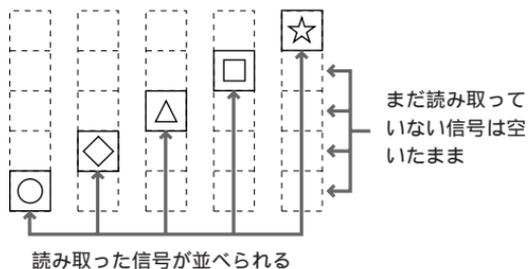
これに対し、ノントラッキング再生では忠実なトレースを必要としないため、小型化が可能となりました。

ノントラッキング再生では、一度に複数のトラックをトレースします。





その際、ヘッドがトラック上のどの部分の信号を読み取ったかを、メモリーIC（回路）内に記憶します。



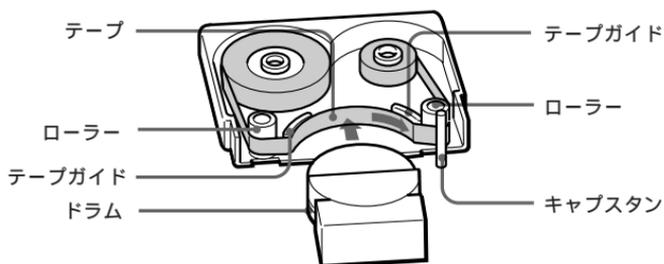
この動作を何度か繰り返すと、すべてのデータがメモリー内に記憶され、完全な音声データができあがります。

## →NTフォーマットのしくみ

### ノンローディング方式

NT-2は回転ヘッドで音声を記録します。従来の回転ヘッドによる記録方式はカセットからテープを引き出して回転ドラムに巻きつけていたため複雑なテープローディング機構が必要でした。

これに対してこのノンローディング方式では、カセットにプラスチックのテープガイドが内蔵されているので、回転ヘッドをカセット内部に押し込むだけでテープパスが構成されます。このため、複雑なテープローディング機構が不要となりました。

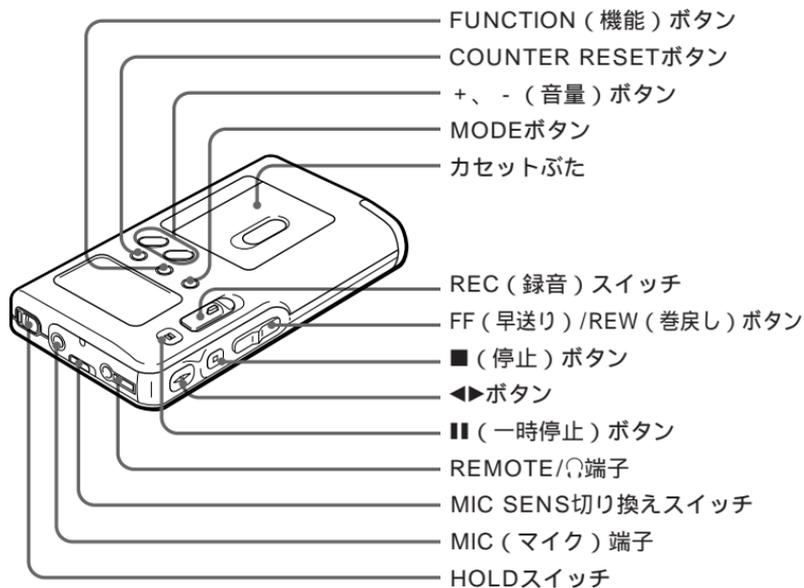


### メモリーリバースについて

NT-2にはオートリバース機能があります。録音・再生時にテープ片面が終わってもカセットを裏返す必要がありません。録音時にテープエンドの少し手前で、おもて面からうら面へ反転します。反転時は音声信号がメモリーで処理されます。したがって、反転箇所の音も、途切れることなく再生されます。(メモリーリバース機能)

# 各部のなまえ

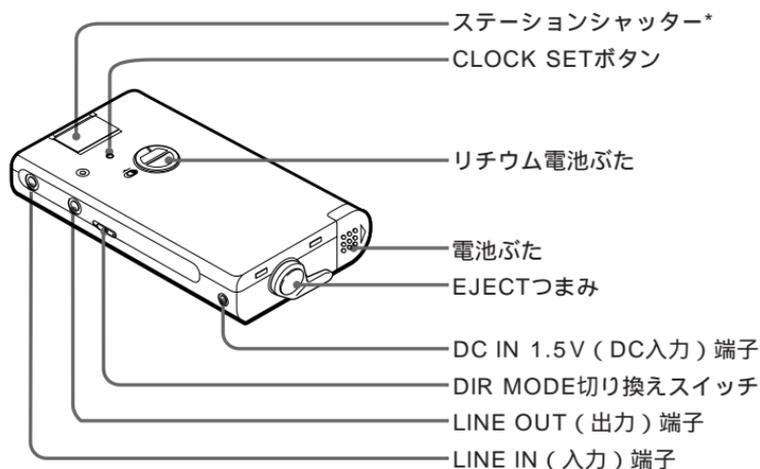
本体表面



その他

## →各部のなまえ

本体裏面

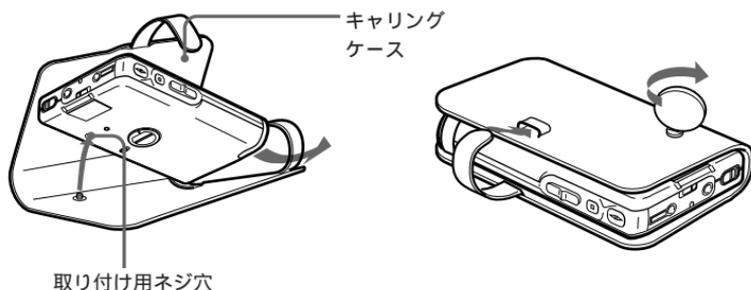


\* 別売りのNTステーションNTU-S1をつなぐためのものです。

NTステーションの取り付け・取りはずし時に自動的に開閉しますので、それ以外のときは無理に開け閉めをしないでください。故障の原因となります。

### キャリングケースの取り付け方

キャリングケース取り付け用ネジ穴にキャリングケースのネジを合わせ、コインなどでネジを締めます。

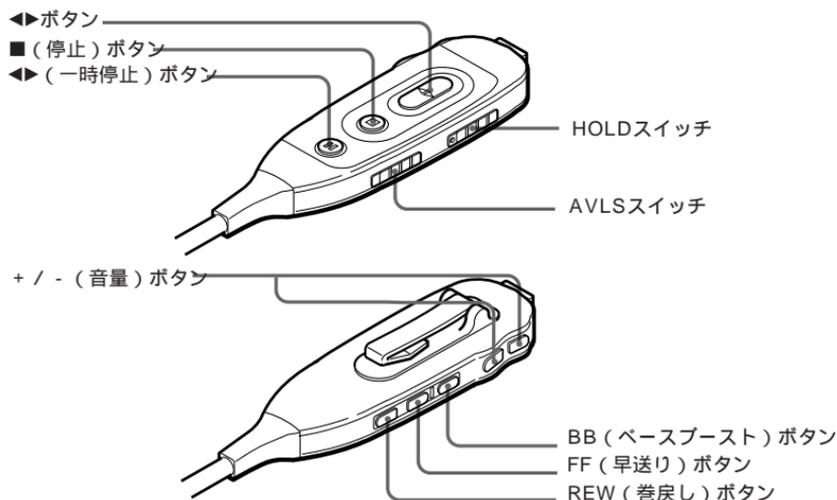


その他

### ご注意

- ヘッドホンのコードをキャリングケースに巻きつけたままにしないでください。キャリングケースの革が変形したり、変色することがあります。

## リモコン



## 表示窓

REMAIN (残量時間) 表示

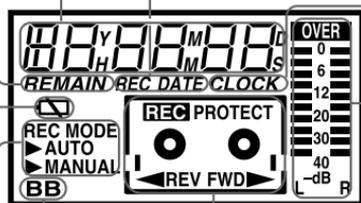
録音時、テープの残り (片面記録時は片面の残り) 時間が4分を切ると点滅します。このとき、スイッチを切り換えても動作は切り換わりませぬ。

電池消耗表示

REC MODE (録音モード) 表示

BB (ベースブースト) 表示

録音表示



テープカウンター表示  
 残量時間  
 年月日 / 時計 (時分秒)  
 録音年月日 / 時分秒

REC DATE (録音時) 表示  
 CLOCK (時計) 表示

音声レベル表示

カセット表示

カセットが入っていると点灯し、入っていないと点滅します

誤消去防止表示

誤消去表示状態のカセットに録音しようとする時、「REC」とともに点滅します。また、本体側の面のみが誤消去防止状態になっていると「◀REV」とともに点滅します。

走行面表示  
 FWD : ふた側の面  
 REV : 本体側の面

## Operating Instructions

### Connecting to the wall outlet and a CD player, etc.

See the illustrations in the Japanese text (page 5).

The recorder is operable on house current or one LR6 (size AA) battery. To use the recorder on a battery, see "Using on a dry battery" (page 8).

- 1 Connect the LINE IN jack of the recorder to the LINE OUT jacks of a CD player, etc. with the line cable (supplied).
- 2 Connect the DC IN 1.5V jack of the recorder to a wall outlet with the AC power adaptor (supplied).

#### *To make a digital connection and recording*

To make a digital recording from CDs, MDs, or DATs, you need the NT Station NTU-S1 (not supplied) to connect your recorder to the player.

### Recording from a CD, etc.

See the illustrations in the Japanese text (page 6).

- 1 Slide EJECT upward to open the cassette holder.  
Insert a tape with the side to start recording on facing cassette holder. Slide in the tape with the tape shield first, and insert it until it clicks.
- 2 Slide DIR MODE (direction mode) to select recording on one side or on both sides of the tape.  
One side: set to  $\rightleftarrows$ .  
Both sides: set to  $\rightleftarrows$ .
- 3 While pressing the red button on REC, slide REC in the direction of the arrow.  
Recording starts.

- 4 Play the CD, etc.

#### *To stop recording*

Press  $\blacksquare$  (stop).

#### *To suspend recording*

Press  $\mathbb{I}$  (pause).

To resume recording, press  $\mathbb{I}$  again.

#### *To monitor the sound being recorded*

Connect the headphones to the REMOTE/ $\odot$  jack.

## Listening with the headphones

See the illustrations in the Japanese text (page 7).

- 1 Connect the headphones to the REMOTE/ $\odot$  jack.
- 2 Insert the tape with the side you want to listen to facing cassette holder.
- 3 Slide DIR MODE to select playing one side or both sides of the tape.  
One side: set to  $\rightleftarrows$ .  
Both sides continuously\*: set to  $\rightleftarrows$ .

\* The recorder plays both sides three times continuously and then automatically stops.

- 4 Press  $\blacktriangleleft$  to start playing.
- 5 Press + or - (volume) to adjust the volume.

#### *Operation while playing back*

To	Press
Stop playing	$\blacksquare$
Play the opposite side of a tape	$\blacktriangleleft$
Suspend playback	$\mathbb{I}$
Fast-forward	$\blacksquare$ then FF
Rewind	$\blacksquare$ then REW

## ► **Power sources and setting the clock**

---

### **Using on a dry battery**

See the illustrations in the Japanese text (page 8).

Install an R6 (size AA) alkaline battery.

- 1 Slide the dry battery compartment lid in the direction of the arrow and open it.
- 2 Install the battery with the – side first.

#### *When the battery becomes weak*

The  indication flashes in the display. Replace the battery with a new one, or the battery will go dead and the recorder will not operate.

#### *The alkaline battery's life*

You can record with a new alkaline battery for about 6 hours, or play back for about 4.5 hours.

---

### **Installing a lithium battery**

See the illustrations in the Japanese text (page 9).

To operate the built-in clock, install the lithium battery (CR1220, supplied).

- 1 While sliding the release switch on the rear panel of the recorder with a pointed object, rotate the lid in the direction of OPEN.  
The lid is removed.
- 2 Install a lithium battery with the + side facing up.
- 3 Replace the lid, and rotate it in the direction of CLOSE until it clicks.

#### *Lithium battery life*

Replace the lithium battery with a new one once about a year.

#### *Notes on lithium battery*

- Keep the lithium battery and the recorder out of the reach of children. Should the battery be swallowed, immediately consult a doctor.
- Be sure to observe the correct polarity when installing the battery.
- Do not hold the battery with metallic tweezers, as a short-circuit may occur.

#### **WARNING**

Battery may explode if mistreated. Do not recharge, disassemble or dispose of in fire.

---

### **Setting the clock**

See the illustrations in the Japanese text (pages 10 to 11).

Set the clock before starting any recording operations to stamp the date and time.

- 1 While the recorder is not operating, press CLOCK SET on the rear panel of the recorder with a pointed object for about one second.  
The digits of the year (Y) flash.
- 2 Press + or – to enter the current year.  
To change the digits rapidly, keep pressing + or –.
- 3 Press MODE.  
The year you set is stored in the memory and the digit of the month starts flashing.
- 4 Repeat steps 2 and 3 to set the month (M), date (D), hour (H), and minute (M).  
The time is displayed in the 24-hour system.
- 5 After setting the minute, press MODE.  
The clock starts operating, and the current time (hour, minute, and second) is displayed.

## ►Recording – Advanced operations

---

### Recording with a microphone

See the illustrations in the Japanese text (pages 12 to 14).

- 1 Connect the stereo microphone (supplied) to the MIC jack.
- 2 Slide EJECT upward, and insert a tape with the side to start recording on facing cassette holder.  
Slide in the tape with the tape shield first, and insert it until it clicks.
- 3 Slide DIR MODE to select recording on one side or on both sides of the tape.  
One side: set to .  
Both sides: set to .
- 4 While pressing the red button on REC, slide REC in the direction of the arrow. Recording starts.

#### *To stop recording*

Press ■.

#### *To suspend recording*

Press ■■.

To resume recording, press ■■ again.

#### *To adjust the sensitivity of the microphone*

While monitoring with the headphones, set MIC SENS to H (high) or L (low) according to the recording condition.

To record a remote or quiet sound: Set to H

To record a close or loud sound: Set to L

#### *To prevent accidental erasure*

After recording, push the red tab on the side of the tape you want to protect using a pointed object. If you try to record with the tab pushed down, "REC PROTECT" flashes in the display and the recorder shuts off automatically.

To record over the previous recording, push the white tab on the opposite side of the cassette with a pointed object.

#### *To mix sound from two audio sources*

Connect the microphone to the MIC jack and connect another piece of audio equipment to the LINE IN jack of the recorder. You can record the sound from both sources mixed together. In this case you cannot adjust the sound balance.

---

### Adjusting the recording level

Sound levels of the source are automatically adjusted when recorded on the tape. You can select the automatic adjustment mode according to the sound source. If you want to control the recording level more precisely, you can adjust the level manually.

#### Selecting the automatic adjustment mode

See the illustrations in the Japanese text (page 15).

- 1 When the recorder is recording or in recording standby mode, press FUNCTION.  
When the recorder is in other modes, while pressing the red button on REC, press FUNCTION.
  - 2 Press MODE repeatedly until "SPEECH" or "MUSIC" appears in the display.  
Each time you press MODE, the display changes as follows:  
"SPEECH" → "MUSIC" → "MANUAL"
- To record conversation, etc.: set to SPEECH.  
To record music: set to MUSIC
- 3 Press FUNCTION.  
Recording level will be adjusted automatically.

### Adjusting the recording level manually (Manual recording)

See the illustrations in the Japanese text (page 16).

- 1 When the recorder is recording or in recording standby mode, press FUNCTION.  
When the recorder is in other modes, while pressing the red button on REC, press FUNCTION.
- 2 Press MODE repeatedly to until "MANUAL" appears in the display.
- 3 Press FUNCTION.  
The recording level control is switched to manual control.
- 4 While pressing the red button, press + or - to adjust the level.  
As the digits in the display increase, the level increases (minimum: 0, maximum: 30).  
Observe the display and adjust the level so that the top bar lights up once in a while.

### Displays while recording

See the illustrations in the Japanese text (page 17).

Each time you press MODE while recording, while in the standby mode, or right after the recorder has stopped recording, the display changes as follows:

Tape counter (counted length of the tape, not elapsed time)



Remaining time



Year, month, and date



Hour, minute, and second  
(The clock operates in 24-hour system.)

*To reset the tape counter*  
Press COUNTER RESET. The tape counter indicates "0H00M00S".

*When "REMAIN" flashes in the display*

The remaining time of the tape is less than about 4 minutes.

## ► Playback – Advanced operations

### Listening with a stereo system

See the illustration in the Japanese text (page 18).

- 1 Connect the LINE OUT jack of the recorder to the LINE IN jack of your stereo system with the line cable (supplied).
  - 2 Insert the tape with the side you want to listen to facing cassette holder.
  - 3 Slide DIR MODE to select playing one side or both sides of the tape. One side, set to . Both sides continuously\*, set to .
- \* The recorder plays both sides three times continuously and then automatically stops.
- 4 Press  to start playing.

To	Press
Stop playing	
Play the opposite side of a tape	 while playing
Suspend playback	 while playing
Fast-forward	FF while in stop mode
Rewind	REW while in stop mode

#### *To listen to a tape in a car*

Use the car battery cord DCC-E215XL (not supplied) and the car connecting pack CPA-8 (not supplied). Connect the DC IN 1.5V jack of the recorder to the cigarette lighter socket of the car with the car battery cord. And connect the LINE OUT jack of the recorder to the cassette car stereo with the car connecting pack.

### Selecting the sound quality

See the illustrations in the Japanese text (page 20).

When listening with the headphones, you can select the sound quality.

### Emphasizing the bass (BASS BOOST feature)

The BASS BOOST feature intensifies low frequency sound for richer bass reproduction.

- 1 Press FUNCTION.
- 2 Press MODE. Each time you press MODE, the setting changes as follows: "OFF" → "BASS 1" (slight emphasis of the bass) → "BASS 2" (strong emphasis of the bass)
- 3 Press FUNCTION to end selection.

*To select with the remote control*  
Press BB.

Each time you press BB, the selection changes as follows:  
"OFF" → "BASS 1" → "BASS 2".

### Protecting your hearing (AVLS function)

The AVLS (Automatic Volume Limiter System) function allows you to limit the maximum volume of the recorder to protect your ears.

Slide AVLS on the remote control to ON.

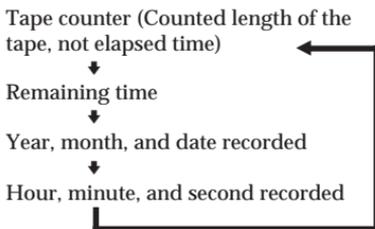
The volume is kept below the level "23", even if you attempt to turn the volume up higher.

---

## Displays while playing

See the illustrations in the Japanese text (page 22).

The recording time and date stamped on the tape is displayed during playback. Each time you press MODE, the display changes as follows:



### *To reset the tape counter*

Press COUNTER RESET. The tape counter indicates "0H00M00S".

## ► Useful functions

---

### Locking the controls (Hold function)

See the illustrations in the Japanese text (page 23).

To prevent the buttons from being accidentally operated, use the Hold function.

It can lock the controls while you are walking with the recorder in your bag or pocket. Even when this function is activated, you can still reset the tape counter and change the display.

Slide HOLD in the direction of the arrow.

The HOLD switch on the recorder works to lock the controls on the recorder.

The HOLD switch on the remote control works to lock the controls on the remote controller.

### *To release the Hold function*

Slide back HOLD in the opposite direction of the arrow.

---

## Knowing the side of a tape (A/B side checking function)

See the illustrations in the Japanese text (page 23).

Before starting operation, you can check which side of the tape in the recorder is to be played or recorded.

While the recorder is not operating, keep pressing ■ for a while. "A Side" or "B Side" appears in the display.

## ► For your information

---

### Troubleshooting Guide

If you experience any of the following difficulties while using your recorder, use this troubleshooting guide to help you remedy the problem.

- The cassette holder cannot be closed.  
→The cassette tape is not inserted properly.
- The recorder does not work though a certain button is pressed.
- No indication appears in the display.
- The tape does not move.  
→The battery is weak.  
Replace the battery with a new one.  
→Connect the power source correctly.  
→Slide back HOLD.

- Recording cannot be done.
  - Connection is incorrect.
  - Recording level is set at minimum (while manual recording).
  - The cassette is record-protected. (The red tab on the cassette tape is pushed down.)  
Push the white tab on the opposite side of the cassette with a pointed object. When the red tab is visible on the side you want to record on, recording can be done.
  
- Sound is not heard at all.
  - Connection is incorrect.
  - The volume is set at minimum. Adjust the volume pressing the + (volume) button.
  
- Cannot increase the volume.
  - The AVLS function is activated. Slide the AVLS switch to OFF.
  
- Increase of noise or deterioration of sound.
  - The recorder is placed near noise sources such as a TV set. Place the recorder away from noise sources.
  - The tape head is not clean. Clean the head using the cleaning cassette NTC-10CL.
  
- The clock does not keep good time.
  - The lithium battery is weak. Replace it with a new one.
  
- Correct date and time are not recorded on the tape.
  - The date and time have not been set. Set the date and time.
  
- The cassette tape cannot be ejected.
  - The power source is disconnected while operating. Connect the power source, press **■**, and slide the EJECT switch upward.
  
- The BASS BOOST feature does not function.
  - A cord is connected to the LINE OUT jack. Remove the cord.

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	
●ナビダイヤル.....	0570-00-3311
<small>(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)</small>	
●携帯電話・PHSでのご利用は.....	03-5448-3311
●Fax.....	0466-31-2595
受付時間:	月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00